



足立区

記者会見資料
平成28年4月22日
衛生部こころとからだの健康づくり課
馬場課長（3880）5433

「子どもの健康・生活実態調査」の結果がまとまりました

平成27年度に実施しました「子どもの健康・生活実態調査」の結果がまとまりました。

1 調査の背景

- 足立区民の健康寿命が都の平均よりも約2歳短いという健康格差がある
- 主な要因は糖尿病であり、「足立区糖尿病対策アクションプラン」を策定
- 糖尿病をはじめとする生活習慣病予防には、子どもの頃から正しい生活習慣を身につけることが効果的

- 国民生活基礎調査によると、現在6人に1人の子どもが貧困状態
- 足立区では、平成27年度を「子どもの貧困対策元年」と位置づけ、「未来へつなぐあだちプロジェクト～足立区子どもの貧困対策実施計画～」を策定

2 調査の目的

- (1) 子どもの健康と生活の実態を把握すること
- (2) 子どもの健康が家庭環境や生活習慣からどのような影響を受けているかを明らかにすること
- (3) 子どもの健康と世帯の経済状況にどのような関連があるのか（媒介要因）を明らかにすること

3 調査の概要

- (1) 調査対象：区立の小学校に在籍する1年生全員 5,355名
- (2) 調査時期：平成27年7月（先行実施6校）
平成27年11月（本格実施63校）の計69校
- (3) 実施方法：無記名アンケート方式により、区が学校を通じて質問票や回答票の配付・回収を行い、国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部が結果の集計・分析を行いました。
- (4) 回答状況：有効回答4,291名（有効回答率80.1%）
回答者の約90%は子どもの母親

4 調査の結果

別添「平成27年度 報告書」をご覧ください。

【問合せ先】衛生部こころとからだの健康づくり課長 馬場 優子
電話（3880）5433